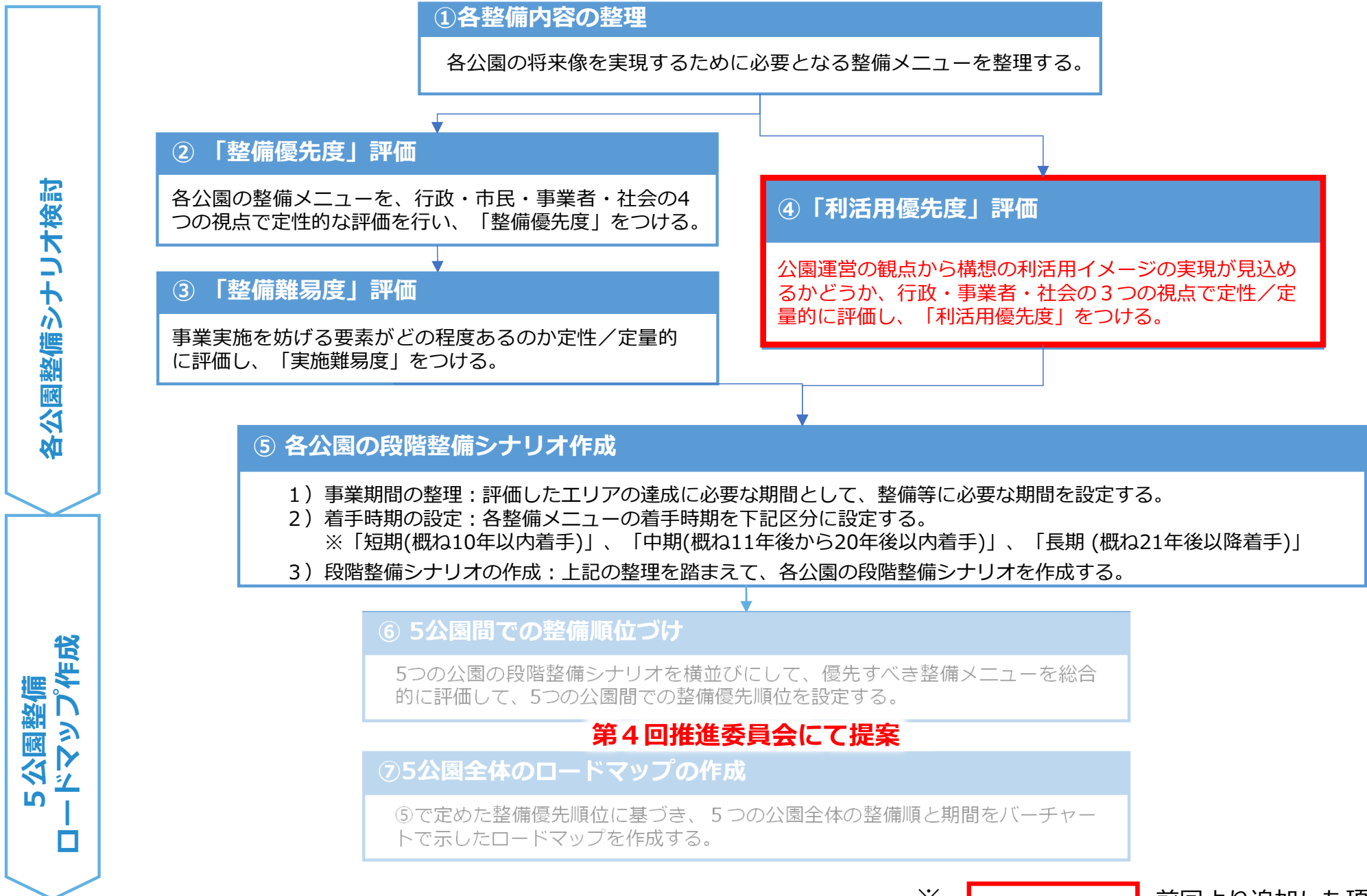


## ■ロードマップのとりまとめ方針



# 1. 整備優先度の評価

整備事業の優先度を判断するのに考慮すべき項目を行政・市民・事業者・社会の4つの視点で整理し、5公園エリア毎に評価を行う。

表：整備優先度の評価項目

評価項目		評価内容	評価方法
行政	施設状況 喫緊課題 公園の惜しいところ	施設老朽化（耐用年数）、利用者数、施設不足、管理対応が必要、惜しいところなど	該当する内容の有無により評価 ○（課題等あり）、△（課題等なし）
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	既存施設の整備状況 市等の取組状況の有無、熟度 マイナス事項	関連計画の進捗度合いやマイナス要因などにより評価 ◎（取組が多数あり）、○（取組が一つあり）、△（マイナス要因あり、整備済）、－（なし）
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	公園整備に対する市民ニーズ	将来構想の基本構想図や利活用イメージへの賛同数（過年度出張アンケート「いいねシール」の集計結果）により評価 ◎（公園内で上位1/3）、○（公園内で中位1/3）、△（それ以下） また、アンケートによる主な意見内容の多少を評価に反映
事業者	公園に興味のある事業者	5公園の中で当公園に興味があると答えた企業数	該当企業の多少により評価 ◎（企業数が多い）、○（中程度）、△（企業数が少ない）
	積極的参加意欲のある事業者	5公園の中で当エリアに積極的に参加する意欲がある答えた企業数	該当企業の多少により評価 ◎（企業数が半数以上）、○（中程度）△（企業数が少ない）
	事業者からの具体提案イメージ	第二回サウンディングで得られた事業者の提案	具体的な提案イメージの有無により評価 ○（あり）、△（なし）
	イメージとの整合	将来構想の利活用イメージと事業者からの提案内容の整合性	◎（概ね整合）、○（やや整合）、△（不整合）
	官民連携の可能性	積極的参加意欲のある事業者、実績のある事業者、関心のある事業者の有無	◎（可能性あり：積極的参加意欲のある事業者がいる、関心があり実績のある・他社への声掛けを行っている事業者がいる、事業者数が2社以上）※ただし、指定管理のみは△ ○（若干可能性あり：積極的参加意欲のある事業者がいる、関心があり実績のある事業者がいる、事業者数が1社以上） △（可能性なし）
	他エリアとの一体整備の必要性	収益性の観点から他エリアと一体整備を行う必要性の有無	○（必要性がない）、△（必要性がある）

## 1. 整備優先度の評価

整備事業の優先度を判断するのに考慮すべき項目を行政・市民・事業者・社会の4つの視点で整理し、5公園エリア毎に評価を行う。

表：整備優先度の評価項目

評価項目		評価内容	評価方法
社会	安全・安心効果	防災機能向上	評価内容の効果が、どの程度期待されるかにより評価 ○(あり)、△(なし)
	生活の質の向上効果	環境維持・改善 健康・レク空間提供 景観形成 文化伝承 子育て・教育 コミュニティ形成	評価内容の効果が、どの程度期待されるかにより評価 ◎(多数あり)、○(一つあり)、△(なし)
	生産拡大効果	観光振興 経済活性化	評価内容の効果が、どの程度期待されるかにより評価 ◎(多数あり)、○(一つあり)、△(なし)

## 2. 整備難易度の評価

整備難易度を示す指標として整備事業実施を妨げる要素がどの程度あるのかを、5公園エリア毎に評価を行う。

表：整備難易度評価項目

評価項目	評価内容	評価方法
法規制	都市計画公園として既に位置付けられている区域	整備における制約有無により評価 ○（制約無）、△（制約有。手続きに時間を要すなど）
	供用開始	都市計画公園・または都市公園の供用・未供用により評価 ○（供用済）、△（未供用）
	その他規制（農地法など）	その他法令による規制の有無により評価 ○（規制無）、△（規制有）
用地買収の有無 交渉人数	用地取得のハードルの高さ	用地取得の要否、必要面積、件数、要する期間等により2段階評価 ◎（確保済。用地取得不要）、○（一部必要）、△（確保必要）
現時点での補助金の活用見込み		想定される事業手法によって、補助金活用の可能性の有無で評価 ○（補助金活用性有）、△（活用不可）
周辺環境への影響 懸案事項	整備による周辺環境への影響 （自然環境、競合施設の有無、交通等） 懸案事項の有無	周辺環境への影響の有無、懸案事項の有無を3段階で評価する ○（影響無）、△（影響有）、×（懸案事項あり）

## 3. 事業期間の評価

早期の実現性を判断するのに考慮すべき項目として、下記について5公園エリア毎に評価を行う。

表：事業期間評価項目

評価項目	評価内容	評価方法
早期実現性	事業期間（用地買収期間、法手続き期間、設計・公募準備期間、整備期間）	事業期間により評価 ◎（5年以内）、○（6年～10年以内）、△（11年以上）

## 4. 利活用優先度の評価

活用の可能性を判断するのに考慮すべき項目として、下記について5公園エリア毎に評価を行う。

表：利活用優先度評価項目

評価項目		評価内容	評価方法
行政	運営上の喫緊課題 惜しいところ	現況の施設状況および利用状況に対する課題 (将来構想で市民より惜しいところとして挙げられている意見)	該当する内容の有無により評価 ○(課題有)、△(課題無)
事業者	指定管理者制度利活用の可能性	第二回サウンディングより指定管理に興味があると回答した事業者数	◎(企業数が多い)、○(中程度) △(企業数が少ない)
社会	提案利活用イメージ	第二回サウンディングより挙げられた事業者の利活用イメージ	○(提案あり)、△(具体提案なし)
	指定管理状況	該当エリアの指定管理状況	○(未整備・未指定)、△(指定管理有)
	周辺施設との連携		周辺施設との連携を行うの可能性有無により評価 ○(可能性有)、△(可能性無)



■洲原公園

エリア名		池の周遊コース	池(水面)の活用	池の東西をつなぐ	岩ヶ池公園との連携	
利活用イメージ(整備)		多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコース ■遊歩道 【イメージ】 歩きやすい舗装など	洲原池の魅力的な水面を活用 【イメージ】 ボート/カヌー/池を横断するジップラインなど	2つのエリアをつなぐ動線 橋:幅3m、橋長200m程度 ■橋 【イメージ】 渡りたくならないような橋/浮橋など	岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道をつなぐ ■緑道 ■サイクルステーション 【イメージ】 緑道/サイクルステーションなど	
行政	施設状況 喫緊課題 借しいところ	・舗装の老朽化(園路がデコボコ) ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	・池が汚い ・遊具広場とディキャンプ場が離れている	・池を迂回する道が長い ・池に橋が欲しい	・緑道の再整備 ・岩ヶ池公園とのつながりがない	○
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	—	—	—	—	—
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	(4位)42票 ・歩道が少し飽きたため、もう少し変化がほしい	(7位)16票 ・カヌーをしたい ・自然を守りつつ野鳥や魚などが住みやすい環境があれば良い	(2位)55票 ・池の東西をつないでほしい ・橋があるとショートカットできるので良い ・池をつなぐと小さい子連れや子供が大回りしなくて良い ・橋があるとより散歩しやすくて良い	(8位)12票	△
	事業者	公園に興味のある事業者数 うち参画の可能性 事業者からの具体提案イメージ イメージとの整合 官民連携の可能性 他エリアとの一体整備の必要性	12事業者 3事業者 具体提案なし — 可能性なし なし	12事業者 3事業者 ■池内に釣堀 概ね整合 可能性あり(積極的参加意欲:1社) 指定管理での釣り堀運営 なし	12事業者 3事業者 具体提案なし — 可能性なし なし	12事業者 3事業者 具体提案なし — 可能性なし なし
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	なし	なし	なし	△
	生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	なし	なし	なし	なし	△
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	なし	なし	なし	△
整備優先度		低	低	低	低	
法規制	都市計画公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	—	—
	供用開始	供用	供用	供用	供用	○
	その他規制	第2種風致地区	第2種風致地区 ため池管理者協議	第2種風致地区	第3種風致地区	△
	用地買収の有無、交渉人数	不要	不要	不要	必要	△
	現時点での民間資金や補助金の活用見込み	なし	なし	都市公園等事業	なし	△
	周辺環境への影響・懸案事項	なし	なし	・ため池協議が必要	・沿道民家に対して配慮が必要	×
整備難易度		低	低	中	高	
早期実現性	各エリアの整備時期に合わせて実施	約4年 (計画:約1年、事業者公募:約2年、整備:約1年)	◎ 約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	◎ エリアの整備時期に合わせて実施	—	—
エリア名		池の周遊コース	池(水面)の活用	池の東西をつなぐ	岩ヶ池公園との連携	
利活用イメージ		多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコース ○ウォーキングやジョギングなど、多くの市民がそれぞれの楽しみ方で池を周遊しています。 ○コース沿いの健康遊具で体を動かして、健康づくりに励んでいます。	洲原池の魅力的な水面を活用 ○カヌー体験やボートで遊んでいます。 ○池を横断するジップラインで、上空から池や森の美しい風景を見ながら楽しんでいます。	2つのエリアをつなぐ動線 橋:幅3m、橋長200m程度 ○小さな子ども車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。 ○BBQの台間には対岸に渡り、広場や遊具で遊んでいます。	岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道をつなぐ ○岩ヶ池公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。 ○サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。	
行政	運営上の喫緊課題 借しいところ	・特になし	・池が汚い ・遊具広場とディキャンプ場が離れている	・池を迂回する道が長い ・池に橋が欲しい	・緑道の再整備 ・岩ヶ池公園とのつながりがない	○
	指定管理者制度活用の可能性	8事業者	◎ 8事業者	◎ 8事業者	◎ 8事業者	◎
事業者	提案利活用イメージ	・特になし	・水上アクティビティ ・池を活用した講座やイベント	・特になし	・シェアサイクルの導入	○
	指定管理状況	未指定	○ 未指定	○ 未指定	○ 未指定	○
社会	周辺施設との連携	・愛知教育大学との連携	○ 愛知教育大学との連携	○ 愛知教育大学との連携	○ 愛知教育大学との連携	○
	利活用優先度評価	高	高	高	高	
考察	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、具体的な活用イメージの提案はないものの、活用優先度は高い。整備に関しては、想定するものはない。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、具体的な活用イメージの提案もあるため、活用優先度は高い。整備に関しては、民間事業者からの提案はあるものの、行政のコスト削減につながらないため、整備優先度は低い。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、具体的な活用イメージの提案はないものの、活用優先度は高い。整備に関しては、民間事業者からの提案はなかった。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、具体的な活用イメージの提案はないものの、活用優先度は高い。整備に関しては、民間事業者からの提案はなかった。		
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)		長期	長期	長期	長期	

■岩ヶ池公園

エリア名		地域の森・エリア	森の中ステイ・エリア	森と水の冒険・エリア	ファミリー・エリア	交流・エリア	
【整備優先度評価】	利活用イメージ(整備)	岩ヶ池と周辺の自然環境を「地域の森」として、市民参加の森づくりをするエリア 岩ヶ池の周辺の自然環境を「地域の森」として、市民参加の森づくりをするエリア ■地域の憩いの場(森の家) ■遊び場(プレーパーク) 【イメージ】 森の学校/地域の遊び場など	宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリア ■ラグジュアリーなキャンプ施設 ■宿泊施設 ■駐車場 【イメージ】 グランピング/ワーケーションなど	森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代と一緒に遊ぶことのできるエリア ■ジップラインやツリークライミング施設 ■アドベンチャー遊具 ■サイクルステーション ■北エントランス広場 【イメージ】 アドベンチャー遊具/木登り施設/ジップライン/サイクルステーション/北エントランス広場など	雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことのできるエリア ■屋内外にある魅力的な遊具 ■水辺のカフェテラス ■プレイハウス 【イメージ】 プレイハウス(屋内型遊具施設)/水辺のカフェテラス/林間遊具など	常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリア ■セントラルプラザ ■オアシスステージ ■テラックス ■天然温泉かきつばた ■ジャブジャブ・ミスト噴水 ※すべて既存施設 【既存施設】 セントラルプラザ/オアシスステージ/テラックス/天然温泉かきつばた/ジャブジャブ・ミスト噴水など	
	行政	施設状況 喫煙課題 借しいところ	子どもが工夫、冒険できる場所がない 運動できる広場がない 大学生が遊べる場所がない	子どもが工夫、冒険できる場所がない 運動できる広場がない 大学生が遊べる場所がない	子どもが工夫、冒険できる場所がない 運動できる広場がない 大学生が遊べる場所がない	既存屋外遊具は平成20年に整備後、一部改修 ・今後、改修すべき遊具の増加が見込まれる ・暑い日に屋外で遊べない ・雨の日も遊べる遊具がない ・ベンチ、日よけが欲しい	既存施設は平成16年～20年に整備、長いもので約20年経過 ・年間約800万人が来園 ・エレベーターが1基しかない ・ベンチ、日よけが欲しい
	市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	4位(109票) ・森のエリアがあるのはよい ・北っ子の森の整備で散歩しやすく安心して歩けるようにしてほしい	2位(154票) ・グランピング施設があれば行ってみたいと思った ・近くにないのであったらうれしい ・宿泊施設で刈谷市のことを市街の人が知ってくれるきっかけになったらいい ・オートキャンプができるとよい ・泊まれるキャンプ場がよい ・テグランピングな方がいい ・緑がおおいのでカフェがほしい	1位(191票) ・子どもを遊ばせる魅力的な遊具がほしい ・子どもと楽しめる施設が増えるのがうれしい ・子どもはもちろんだ大人も楽しめるのでジップラインがほしい ・水辺を生かした設備に夢があってよい ・買物ができると大人もうれしくてよい	3位(136票)	6位(47票)
	事業者	公園に興味のある事業者数	9	9	9	9	9
	事業者	積極的参加意欲のある事業者	2	2	2	0	0
	事業者	事業者からの具体提案イメージ	なし	■グランピング、キャンプ施設 ■コテージ、トレーラーハウス ■RVパーク ■ドッグラン	■グランピング、キャンプ施設 ■アスレチック遊具 ■水のアクティビティ ■自走式遊具施設	なし	なし
	事業者	イメージとの整合	—	概ね整合	概ね整合	—	—
	事業者	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:2社) (P-PFI・指定管理等でのアウトドア系宿泊施設の運営+指定管理でのアクティビティの運営)	可能性あり(積極的参加意欲:2社) (P-PFI・指定管理等でのアウトドア系宿泊施設の運営+指定管理でのイベント運営)	可能性あり(積極的参加意欲:2社) (P-PFI・指定管理等でのアウトドア系宿泊施設の運営+指定管理でのアクティビティの運営)	可能性なし	可能性なし
	事業者	他エリアとの一体整備の必要性	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	なし	なし
	社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	・運動のできる広場の整備により防災機能向上効果が期待できる	なし	なし	なし
社会	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・樹木の伐採、適正な管理により、環境維持、改善効果が期待できる ・市民参加の森づくりにより、コミュニティ形成効果が期待できる	・運動のできる広場の整備により健康、レク効果が期待できる	・ジップライン施設等の整備により健康、レク効果が期待できる	・屋内外の遊具及びプレイハウスの整備により健康、レク効果が期待できる	— ※既存施設のための期待要素なし	
社会	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	・宿泊施設を拠点として市内を観光していたことで観光振興効果や市内の経済活性化効果が期待できる ・宿泊施設での雇用により、経済活性化効果が期待できる	・ジップライン施設等の整備により観光振興効果が期待できる	なし	— ※既存施設のための期待要素なし	
社会	整備優先度	低	高	高	低	低	

【整備難易度評価】		都市公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内
法規制	都市公園区域	公園区域内	○	公園区域内	○	公園区域内	○
法規制	供用開始	未供用	△	未供用	△	未供用	○
法規制	その他規制	第2種風致地区、森林計画対象民有林	△	第2種風致地区、森林計画対象民有林	△	第3種風致地区、森林計画対象民有林	△
用地買収の有無、交渉人数	必要 用地面積:約33,000㎡ 73筆	△	必要 用地面積:約27,000㎡ 35筆 民家1軒あり	△	必要 用地面積:約30,000㎡ 84筆	△	不要 ○
現時点での民間資金や補助金の活用見込み	都市公園等事業	○	社会課題対応型機能向上促進事業 都市公園等事業	○	都市公園等事業	○	なし △
周辺環境への影響、懸案事項	・富士松北小学校の北っ子の森との調整	△	・洲原ロッジと競合する可能性あり	△	・鞍ヶ池公園と競合する可能性あり	△	特になし ○
整備難易度	高		高		高		低

【想定事業期間】		早期実現性					
早期実現性	約9年 (用地買収:約3年、法手続き:約1年、計画:約1年、公募準備:約2年、設計:約1年、整備:1年)	○	約10年 (用地買収:約2年、法手続き:約1年、計画:約1年、公募準備:約2年、設計:約2年、整備:2年)	○	約9年 (用地買収:約3年、法手続き:約1年、計画:約1年、公募準備:約2年、設計:約1年、整備:1年)	○	—

エリア名		地域の森・エリア	森の中ステイ・エリア	森と水の冒険エリア	ファミリー・エリア	交流・エリア
利活用イメージ	■環境学習や自然体験、森づくりの活動を通して、子どもたちが生きいきと活動しています。 ■岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者と一緒に森づくりの活動をしています。 ■地域の憩いの場(森の家)、遊び場(プレーパーク)として、多世代の交流が生まれています。	■環境学習や自然体験、森づくりの活動を通して、子どもたちが生きいきと活動しています。 ■岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者と一緒に森づくりの活動をしています。 ■地域の憩いの場(森の家)、遊び場(プレーパーク)として、多世代の交流が生まれています。	■中高生や大学生が、自然をいかしたジップラインやツリークライミングなどで、アクティブに遊んでいます。 ■小さな子どもも家族と一緒に遊んで体験できるアドベンチャー遊具で楽しんでいます。 ■自転車を借りて、岩ヶ池の周遊コースと洲原公園までサイクリングを楽しんでいます。	■小さな子どもをはじめ、みんなと一緒に屋内外にある魅力的な遊具を遊んでいます。 ■池を眺めながらゆっくり過ごすことのできる水辺のカフェテラスは、若者たちのデートスポットとなっています。 ■水辺の園路では、水・緑・花の織りなす景色を見てもらっています。	■セントラルプラザや天然温泉かきつばたは、民間企業と連携を図り、質の高いサービスを提供し、常に市内外からの多くの人で賑わっています。 ■多くの子どもたちが、楽しそうに水遊びをしています。 ■オアシスステージでは、地域の人が参加するダンス、音楽などの発表会や有名なアーティストも出演するコンサートなど、楽しいイベントが開催されています。 ■地域の学生と連携し、地域を超えて、より多くの人と交流をしています。	
行政	運営上の喫緊課題 借しいところ	なし	なし	なし	なし	なし
事業者	指定管理者制度活用の可能性	7	7	7	0	0
事業者	提案利活用イメージ	なし	なし	バギー・自走式遊具	駐車場の有料化による適正管理	駐車場の有料化による適正管理
社会	指定管理状況	未整備・未指定	未整備・未指定	未整備・未指定	指定管理 R9年まで	指定管理 R9年まで
社会	周辺施設との連携	・富士松北小学校との連携事業が期待できる	なし	なし	なし	なし
社会	利活用優先度評価	中	低	中	低	低

【整備総合評価】		考察				
考察	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、官民連携の可能性もある。また、市民の期待・要望も高い。用地買収、法手続きが必要であること、計画内容の検討が今度進められることになる。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、官民連携の可能性もある。また、市民の期待・要望も高い。用地買収、法手続きが必要であること、グランピング施設等のニーズを含めた計画内容の検討が今度必要になる。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、官民連携の可能性もある。また、市民の期待・要望も高い。用地買収、法手続きが必要であること、計画内容の検討が今度進められることになる。	民間事業者から指定管理者制度への意欲は高く、官民連携の可能性もある。また、市民の期待・要望も高い。用地買収、法手続きが必要であること、計画内容の検討が今度進められることになる。	公園に興味のある事業者は多く、市民の期待・要望も高いものの、事業提案がないため、整備優先度は低い。現在の指定管理事業の中で、構想の実現の取組を多く進められるため、引き続き指定管理事業の充実を図っていく。	構想の実現に向けては、現在の指定管理事業で多く達成できるため、引き続き指定管理事業の充実を図っていく。
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)	中期	中期	中期	中期	長期	—



■岩ヶ池公園

エリア名		池の周遊コース	池の南北をつなぐ	洲原公園との連携			
利活用イメージ(整備)		岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コースです。 ■池を周遊できるコース 【イメージ】 歩きやすい舗装/乗り物での周遊など	だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線です。 ■水上からの眺めを楽しめる施設 ■池を行き来できる施設 【イメージ】 渡りたくなるような人道橋など	洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっています。 ■緑道 ※既存施設 ■サイクルステーション 【イメージ】 緑道/サイクルステーションなど			
行政	施設状況 喫緊課題 惜しいところ	・周遊できる散策路がない ・市民の健康づくりニーズが高い	○	・周遊できる散策路がない	○	・緑道樹木の生育不良 ・緑道の草刈り、排水対応	○
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	・岩ヶ池北側で令和8年度から護岸工事の予定あり ・オアシス橋(二期線)の整備を令和6年度から予定	◎	—	—	—	—
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	5位(77票)  ・遊歩道をつくってほしい ・周回できるコースがあるといい	○	7位(46票)  —	△	8位(45票)  —	△
	公園に興味のある事業者数	9	○	9	○	9	○
事業者	積極的参加意欲のある事業者	1	△	0	△	0	△
	事業者からの具体提案イメージ	■移動モビリティ	○	■南北を行き来できる橋梁	△	なし	△
	イメージとの整合	やや整合	○	—	—	—	—
	官民連携の可能性	可能性なし	—	可能性なし	—	可能性なし	—
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	○	・森の中のステイアリアの整備と同時に整備してほしいとの意見あり	△	なし	○
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	△	なし	△	なし	△
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・池を周遊できるコースの整備により健康、レク効果が期待できる	○	・池を周遊できるコースの整備により健康、レク効果が期待できる	○	なし	△
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	△	なし	△	なし	△
整備優先度		高		低		低	

法規制		公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内
都市公園区域	公園区域内	○	○	—	—
供用開始	未供用	△	△	未供用	△
その他規制	第2種風致地区、森林計画対象民有林	△	第2種風致地区	△	第2種風致地区
用地買収の有無、交渉人数	不要 ※ため池の護岸工事に合わせて遊歩道を整備する場合	○	不要	○	不要
現時点での民間資金や補助金の活用見込み	都市公園等事業	○	都市公園等事業	○	なし
周辺環境への影響、懸案事項	特になし	○	・ため池協議 ・池の北エリアとの連携が必要	△	・沿道民家に対して配慮が必要
整備難易度		低	中	高	

想定事業期間		約3年 (計画設計:約1年、整備:約2年)	◎	約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	◎	エリアの整備時期に合わせて実施	—
早期実現性							

エリア名		池の周遊コース	池の南北をつなぐ	洲原公園との連携			
利活用イメージ		■ウォーキングやジョギング、散歩など、多くの市民が各々の楽しみ方で池を周遊しています。 ■楽しく移動できる乗り物や次世代の乗り物などで周遊しています。	■小さな子ども車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。 ■池の対岸のエリアと行き来しながら、一日中楽しんでいます。	■洲原公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。 ■サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。			
行政	運営上の喫緊課題 惜しいところ	・周遊できる散策路がない ・市民の健康づくりニーズが高い	○	なし	△	・緑道樹木の生育不良 ・緑道の草刈り、排水対応	○
事業者	指定管理者制度活用の可能性	0	△	0	△	—	—
	提案利活用イメージ	なし	○	なし	△	なし	△
社会	指定管理状況	未整備・未指定	○	未整備・未指定	○	未整備・未指定	○
	周辺施設との連携	なし	△	なし	△	なし	△
利活用優先度評価		中		低		低	

考察		民間事業者の意欲はない状況にあるが、近年の高齢化の進展に伴い、ウォーキングやジョギングコースのニーズは高い。また、用地買収を伴わなくても、岩ヶ池の護岸工事にあわせて整備が見込めるため、早期実現の可能性が非常に高い。	民間事業者の意欲はない状況にある。また、市民の要望も他に比べて小さい。	民間事業者の意欲はない状況にある。公園区域外であることや、用地買収が必要であることから、整備が困難である。
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)		短期	長期	長期

■刈谷市総合運動公園

エリア名		プラススポーツ・エリア(拡張エリア)			リバーサイド・エリア				
		うち駐車場整備	うちスポーツ施設整備	うちニュースポーツ施設整備					
利活用イメージ(整備)		要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリア ■ニュースポーツ/テニス/ソフトボール兼少年野球/センター施設(更衣室、スポーツ用品レンタル)など			逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリア ■リバーサイドステーション(活動拠点・カフェ) / 売店(コンビニ・スポーツ用品)など				
行政	施設状況 喫緊課題 惜しいところ	○	○	○	○	○			
	イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	△	-	-	-	-			
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	4位(39票) ○	4位(39票) ○	4位(39票) ○	1位(71票) ○	◎			
	公園に興味のある事業者数	7	7	7	7	7			
事業者	積極的参加意欲のある事業者	0	0	0	0	0			
	事業者からの具体提案イメージ	・有料駐車場	・テニスコート(オムニコート) ・フットサルコート ・屋根付きスポーツ施設	・民設スケートパーク	提案なし	△			
	イメージとの整合	やや整合	概ね整合	◎ 概ね整合	◎	-			
	官民連携の可能性	可能性あり(関心+実績あり:1社) (P-PFI-指定管理等での有料駐車場運営)	◎	◎	◎	可能性なし	△		
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	○	なし	○	なし	○		
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	・駐車場の整備により防災機能向上効果が期待できる	○	・スポーツ施設(広場)の整備により防災機能向上効果が期待できる	○	・スポーツ施設(広場)の整備により防災機能向上効果が期待できる	○	なし	△
	生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	なし	△	・スポーツを楽しむ機会を提供できる ・スポーツを通じた子どもの育成に貢献する	○	・スポーツを楽しむ機会を提供できる ・スポーツを通じた子どもの育成に貢献する	○	・余暇活動の場として利用されることで、幅広い世代の身心のリフレッシュや健康増進等に寄与する効果が期待できる	○
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	△	・大規模な大会が開催可能な規模であれば、地域経済を活性化させる効果が期待できる	○	・大規模な大会が開催可能な規模であれば、地域経済を活性化させる効果が期待できる	○	・地域の雇用の場を創出し、地域経済を活性化させる効果が期待できる	○
整備優先度		高		高		中			

法規制	都市公園区域	公園区域外	△	公園区域外	△	公園区域外	△	公園区域内	○
	供用開始	未供用	△	未供用	△	未供用	△	供用	○
	その他規制	農業振興地域(農用地区域)	△	農業振興地域(農用地区域)	△	農業振興地域(農用地区域)	△	河川区域	△
用地買収の有無、交渉人数	必要 面積約44,000㎡ 35筆						△	不要	○
現時点での民間資金や補助金の活用見込み	都市公園等事業	○	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	○	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	○	なし	△	
周辺環境への影響、懸念事項	・交通量増加に伴う、周辺道路及び交差点への影響有 ・周辺農地への配慮が必要 ・新たな道路整備が必要	△	・周辺農地への配慮が必要	△	・周辺農地への配慮が必要	△	・河川管理者と協議が必要	△	
整備難易度		高		高		高		中	

早期実現性	約9年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 設計:約2年、整備:約2年)	○	約10年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 設計:約2年、整備:約3年)	○	約10年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 公券準備:約2年、設計・整備:約3年)	○	約3年 (設計:約2年、整備:約1年)	◎
-------	---	---	--	---	---	---	------------------------	---

エリア名		プラススポーツ・エリア(拡張エリア)			リバーサイド・エリア				
利活用イメージ		○未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています。 ○だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。 ○更衣室やシャワールーム、スポーツ用品のレンタルなどを備えた施設があり、だれもが気軽に利用しています。			○逢妻川を散歩する人、犬の散歩をする人、ジョギングする人がおり、リバーサイドステーションで豊かな眺めを楽しみながら休憩しています。 ○逢妻川では水遊び、河川敷ではサイクリングやライドアクティビティ(バギーなど)を楽しんでいます。 ○だれもが一緒にBBQで仲間と盛り上がっています。				
行政	運営上の喫緊課題 惜しいところ	未供用	-	未供用	-	未供用	-	○	
事業者	指定管理者制度活用可能性	5	○	5	○	5	○	○	
	提案利活用イメージ	・スポーツイベントチケットとセットの駐車場予約販売	○	・プロスポーツチームとのつながりを活かす	○	・プロスポーツチームとのつながりを活かす	○	具体提案なし	△
社会	指定管理状況	未整備・未指定	○	未整備・未指定	○	未整備・未指定	○	指定管理 R8まで	△
	周辺施設との連携	なし	△	市内スポーツ施設との連携	○	なし	△	なし	△
利活用優先度評価		高		高		高		低	

考察	指定管理者制度への民間意欲は高く、具体的な活用のイメージの提案もあるものの、P-PFI活用のハードルは高い。また、用地買収が必要であること、法手続きにも時間を要することから、整備難易度は高い。また、喫緊課題の早期解消を図るため、公園東側に新たに駐車場を整備する検討を進めている。	指定管理者制度への民間意欲は高く、具体的な活用のイメージの提案もあるものの、P-PFI活用のハードルは高い。また、喫緊課題が乏しいうえ、用地買収が必要であること、法手続きにも時間を要することから整備難易度は高い。	指定管理者制度への民間意欲は高く、具体的な活用のイメージの提案もあるものの、P-PFI活用のハードルは高い。また、喫緊課題が乏しいうえ、用地買収が必要であること、法手続きにも時間を要することから整備難易度は高い。	指定管理者制度への民間意欲は高く、市民の期待・要望はあるものの、具体的な活用イメージがない。民間資金や補助金等も見込めないで状況である。
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)	中期	長期	長期	中期

川谷市総合運動公園

エリア名	エントランス・エリア	アリーナ・スタジアム・エリア	グリーンフィールド・エリア					
			うちグリーンフィールド1 (エントランス側)	うちグリーンフィールド2 (レインボーマウンテン側)	うちグリーンフィールド1 (エントランス側)	うちグリーンフィールド2 (レインボーマウンテン側)		
利活用イメージ(整備)	公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力発信するエリア ■エントランスガーデン/レストラン・カフェ(飲食施設)、売店(コンビニ・スポーツ用品)など	スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリア ■パラスポーツ/e-スポーツなど	屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリア ■インクルーシブな遊具/水遊び場/プレイハウス(屋内遊具施設)/屋根付スポーツ広場(イベント広場)/ふわふわドームなど					
行政	施設状況 喫煙課題 借しいところ	・気軽にスポーツできない ウイングアリーナ川谷 ■体育館 RC造 ・2006年建設(築17年) ※目標耐用年数80年 ※2019年度利用者数339,764人 ウェーブスタジアム川谷 ■陸上競技施設 RC造 ・1993年建設(築30年) ※2019年度サッカー等160回、陸上189回、陸上個人利用37,031人	△	・日よけ雨除け等の屋根がない ・水を使った遊び場が欲しい	・車椅子で遊べる遊具が欲しい ■レインボーマウンテン ・1994年建設(築29年) ※目標耐用年数36年 ■木製健康遊具 ・1994年建設(築29年) ※目標耐用年数17年	○		
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	—	—	—	—	—		
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	2位(66票) ・レストランやカフェがあると良い ・飲食店が軽食ができる場所があればうれしい	◎	5位(28票)	△	3位(55票)	○	
事業者	公園に興味のある事業者数	7	○	7	○	7	○	
	積極的参加意欲のある事業者	0	△	0	△	0	△	
	事業者からの具体提案イメージ	・産直&輸入食品・雑貨 ・レストランカフェ ・スポーツバー	○	提案なし	△	提案なし	△	・インクルーシブ施設 ・ニュースポーツ広場
	イメージとの整合	概ね整合	◎	—	—	—	◎	
	官民連携の可能性	可能性あり(関心+声掛けあり:1社) (P-PFI・指定管理等での飲食系施設運営)	◎	可能性なし	△	可能性なし	△	若干可能性あり(関心あり:1社) (指定管理等での施設運営)
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	○	なし	○	なし	○	なし
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	△	なし	△	なし	△	
	生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	多様な行事等の実施により、コミュニティの活性化に寄与する効果が期待できる	○	なし	△	・イベント等での利用による交流機会の創出を図れる ・施設を通じて子供の育成が図れる	○	・全ての子どもと一緒に楽しく遊べるインクルーシブな公園を実現できる ・施設を通じて子供の育成が図れる
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	地域の雇用の場を創出し、地域経済を活性化させる効果が期待できる	○	なし	△	なし	△	なし
整備優先度	高	低	低	高				

法規制	都市公園区域	公園区域内	○	公園区域内	○	公園区域内	○	公園区域内	○
	供用開始	供用	○	供用	○	供用	○	供用	○
	その他規制	なし	○	なし	○	なし	○	なし	○
用地買収の有無、交渉人数	不要	○	不要	○	不要	○	不要	○	
現時点での民間資金や補助金の活用見込み	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	○	なし	△	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	○	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	○	
周辺環境への影響、懸念事項	なし	○	なし	○	なし	○	なし	○	
整備難易度	低	低	低	低					

早期実現性	約4年 (公募準備:約2年、設計:約1年、整備:約1年)	◎	約2年 (公募準備:約2年)	◎	約5年 (公募準備:約2年、設計:約2年、整備:約1年)	◎	約3年 (設計:約2年、整備:約1年)	◎
-------	---------------------------------	---	-------------------	---	---------------------------------	---	------------------------	---

エリア名	エントランス・エリア	アリーナ・スタジアム・エリア	グリーンフィールド・エリア					
利活用イメージ	○美しいエントランスガーデンがあり、四季の花が咲いています。 ○公園駐車場に隣接して、レストランやカフェがあり、いつでも気軽に立ち寄れます。ホームチームのグッズやスポーツ用品のレンタルなどもあり、いつでも賑わっています。 ○広場でイベントが開催され、多くの人で賑わっています。	○だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。 ○ホームタウンパートナーチームと市民が触れ合っています。 ○多世代に渡ってスポーツをしています。 ○国内トップクラスのスポーツを観戦しています。	○車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもが一緒に元気に遊んでいます。 ○雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます。 ○駐車場などからアクセスがしやすくなり、だれもが快適に利用しています。 ○広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます。					
行政	運営上の喫煙課題 借しいところ	なし	△	・気軽にスポーツできない	○	なし	△	
事業者	指定管理者制度活用の可能性	5	○	5	○	5	○	
	提案利活用イメージ	・芝生広場を平日・休日で使い分ける。休日はマルシェができたり、平日はランドゴルフなど	○	具体提案なし	△	・芝生広場を平日・休日で使い分ける。休日はマルシェができたり、平日はランドゴルフなど	○	具体提案なし
社会	指定管理状況	指定管理 R8まで	△	指定管理 R8まで	△	指定管理 R8まで	△	
	周辺施設との連携	なし	△	なし	△	なし	△	
利活用優先度評価	低	低	低	低				

考察	指定管理者制度への民間意欲は高く、P-PFI等での飲食施設運営に関心ある企業があることから、整備優先度も高い評価となる。また、既存エリアで用地買収も不要であることから、整備難易度が低い。	指定管理者制度への民間意欲は高いものの、市民の期待・要望も高くなく、具体的な活用イメージもない。民間資金や補助金等も見込めない状況である。	指定管理者制度への民間意欲は高く、行政上の喫煙の課題もある。また、エントランス・エリアと一体となって官民連携事業に取組める可能性がある。
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)	短期	長期	短期、長期

■亀城公園

エリア名		歴史体感・エリア		刈谷城址・エリア		桜のみち	
利活用イメージ(整備)		うち体育館・武道施設の移転		うち刈谷球場の移転		桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は桜で彩られています	
		歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリア		刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中たれもが楽しめるエリア			
【整備優先度評価】	行政	施設状況 喫煙課題 借りたいところ	平日の利用者が少ない ・運動施設と文化施設が混在している ・売店が充実していない ・イベントが重なりと駐車場が混み合う ・歴史博物館北側の土地利用 ・運動施設と公園施設が混在	現在の体育館 RC造 ・1969年建設(築54年) 現在の武道施設 RC造 ・2007年建設(築16年) ※目標耐用年数80年 ※2019年度利用者数158,152人 ※2027年度屋上防水・外壁・空調設備改修工事予定	平日の利用者が少ない ・遊具が古い ・池・噴水が活用されていない ・売店が充実していない ・トイレが古く、暗くて怖い ・遊歩道が狭い ・外灯がない ・歴史を感じられる施設がない	現在の刈谷球場 RC造 ・1993年改修(築30年) ※目標耐用年数80年 ※2019年度利用回数390回	既存の桜並木 ・体育館南西差点から歴史博物館まで約230m ・平成26年度～植樹 ・園内の桜の老朽化が著しいのに対し、比較的、桜が若く、樹勢も良い
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	・体育館の耐用年数は残り26年 ・武道施設の耐用年数は残り64年	・2014年耐震補強済 ・既存施設の有効利用を図る ・施設の老朽化の進み具合を見ながら、在り方について検討予定 ・体育館の耐用年数は残り26年 ・武道施設の耐用年数は残り64年	・H20公園再整備基本設計済 ・H25歴史建造物等基本設計済 ・H27歴史建造物等基本設計済 ・R6池の水質浄化実証実験を予定 ・十朋亭の耐用年数残り28年	・近年、スコアボードの改修、飛球防止ネットの嵩上げを実施 ・既存施設の有効利用を図る ・施設の老朽化の進み具合を見ながら、在り方について検討予定 ・刈谷球場の耐用年数残り50年		
	市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	1位(73票) ・運動施設と公園施設は分かれている方が利便性がよくなると思う ・カフェや飲食店がほしい ・遊具がたくさんある公園がよい ・子供が遊ぶ場が増えるのが良い ・お土産屋さんがほしい ・水遊び場、遊具がほしい	1位(73票) ・運動施設と公園施設は分かれている方が利便性がよくなると思う	2位(27票) ・城の雰囲気を感じたい ・お城や櫓を復元してほしい ・桜以外にも四季の花を楽しめるとよい ・イベントなどを開催してほしい ・広くて自由に走り回れる場がほしい。 ・子供が楽しく遊ぶ遊具を増やしてほしい	2位(27票) ・イベントなどを開催してほしい ・お城や櫓を復元してほしい ・桜以外にも四季の花を楽しめるとよい ・子供が楽しく遊ぶ遊具を増やしてほしい	3位(23票) ・特になし
	事業者	公園に興味のある事業者数	10	10	10	10	10
	事業者	積極的参加意欲のある事業者数	5	1	2	0	0
	事業者	事業者からの具体提案イメージ	■歴史を感じさせる遊具 ■歴史を感じさせるカフェやアトラクション ■屋内遊戯施設 ■ジップライン ■温泉、サウナ、プール ■飲食施設 ■ドッグラン ■ウォーキングコース ■イベント広場	■防災体育館 ■大型車両対応駐車場 ■民設民営の体育館整備	■十朋亭を利用した宿泊施設 ■城内レストラン、アトラクション ■ウォーキングコース ■張り出しステージ ■水上バーベキュー ■石垣や隅櫓など ※行政での整備希望	■歴史を感じさせる遊具 ■歴史を感じるカフェやアトラクション ■ウォーキングコース ■イベント広場	なし
	事業者	イメージとの整合	概ね整合	概ね整合	やや整合	概ね整合	—
	事業者	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:2社) (P-PFI-指定管理・DB、DBO等での飲食・娯楽施設等の運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (P-PFI-指定管理・DB、DBO等での体育館の運営)	可能性あり(積極的参加意欲:2社) (P-PFI-指定管理等での宿泊・飲食施設等の運営)	可能性なし	可能性なし
	事業者	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし	なし
	社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	・歴史体感広場の整備により防災機能向上効果が期待できる	・防災機能を備えた体育館を整備することにより、防災機能向上効果が期待できる	・イベント広場の整備により防災機能向上効果が期待できる	・広場の整備により防災機能向上効果が期待できる	なし
社会	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・遊具、広場の整備により健康、レク効果が期待できる	・現状より、機能が向上した体育館の整備により健康、レク効果の向上が期待できる	・イベント広場整備に伴い樹木を間伐することにより、環境維持、改善効果が期待できる ・イベント広場整備により、健康、レク効果が期待できる ・石垣や隅櫓などの整備により景観形成効果や文化伝承効果が期待できる	・広場の整備により健康、レク効果が期待できる	・桜並木の整備により、景観形成効果が期待できる	
社会	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	・刈谷城址エリアとの一体的な整備により観光振興効果が期待できる	なし	・石垣や隅櫓などを整備することにより観光振興効果が期待できる	なし	なし	
整備優先度		高	高	高	中	低	
【整備難易度評価】	法規制	都市計画区域 供用開始	都市計画区域 供用	都市計画区域 供用	都市計画区域 供用	都市計画区域(一部) 道路区域ほか	
	法規制	その他規制	第3種風致地区 文化財包蔵地	第3種風致地区 文化財包蔵地	第3種風致地区 文化財包蔵地	第3種風致地区(一部) 農道	
	法規制	用地買収の有無、交渉人数	不要	必要 用地面積約3,000㎡ 1筆	不要	不要	不要
	法規制	現時点での民間資金や補助金の活用見込み	都市公園等事業 社会課題対応型機能向上促進事業	なし	都市公園等事業	都市公園等事業	なし
	法規制	周辺環境への影響、懸念事項	・体育館、武道施設の移転しない整備が進まない	・清掃センターとの敷地調整が必要 ・体育館、武道施設の移転が必要	なし	・刈谷球場の移転先の確保が必要 ・刈谷球場の移転が必要	・県道歩道幅員の確保が必要
	法規制	整備難易度	高	高	低	高	高
	法規制	早期実現性	約5年 (設計:約2年、整備3年)	約6年 (設計:約3年、整備約3年)	約5年 (設計:約2年、整備約3年)	約5年 (設計:約2年、整備3年)	約3年 (設計:約1年、整備:約2年)
【利活用優先度評価】	行政	運営上の喫煙課題 借りたいところ	平日の利用者が少ない ・売店が充実していない ・イベントが重なりと駐車場が混み合う ・運動施設と公園施設が混在 ・桜の老朽化 ・ゴミがある、汚い	・施設が老朽化しており、部分的な修繕や、それに伴う休館が多い。	平日の利用者が少ない ・売店が充実していない ・運動施設と公園施設が混在 ・桜の老朽化 ・ゴミがある、汚い	なし	
	事業者	指定管理者制度活用の可能性	5	5	1	1	なし
	事業者	提案利活用イメージ	■利活用 ・プロジェクトマップ ・ウォーキングコース ・河川敷での大型イベント ・光のアート、デジタルアート ・小規模なスペース、和風コンテナ	なし	■利活用 ・プロジェクトマップ ・ウォーキングコース ・文化遺産活用 ・十朋亭を利用した宿泊施設、婚礼、コンサート ・光のアート、デジタルアート	なし	なし
	社会	指定管理状況	未整備・未指定	未整備・未指定	未整備・未指定	未整備・未指定	未整備・未指定
	社会	周辺施設との連携	亀城小学校との連携が期待できる	亀城小学校との連携が期待できる	亀城小学校との連携が期待できる	亀城小学校との連携が期待できる	なし
	社会	利活用優先度評価	高	高	高	中	低
	社会	考察	民間意欲が全体的に高く、具体的な提案イメージもあることから整備優先度は高い。しかし、体育館が移転しない整備の進まないのが発点である。	民間意欲が全体的に高く、具体的な提案イメージもあることから整備優先度は高い。しかし、体育館の移転や用地買収が必要なことなど整備難易度は高い。	整備に関する民間意欲が全体的に高く、公園課題の解決や社会的効果が非常に高いため、整備優先度は高い。また、用地買収が不要であること整備難易度は低い。	球場移転後の整備に関しては具体的な提案イメージがあるが、刈谷球場の耐用年数が残ることや刈谷球場の移転先を確保する必要があること整備難易度は高い。	整備に関しては歴史体感エリアと一体で整備する必要のあるうえ、農道の承認申請が必要であることから、整備優先度は低く、整備難易度は高い。
社会	整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)	長期	中期	短期	長期	長期	

■フローラルガーデンよさみ

エリア名		ガーデン・エリア	花の丘・エリア	あそびとついで・エリア	依佐美送信所・エリア				ジョギング・ウォーキングコース	緑のみち
利活用イメージ(整備)		イングリッシュガーデンの充実を図り、だれもがリフレッシュできるエリア ■イングリッシュガーデン ■ガーデンストラップ ■フローラルプラザ(カフェ) ※既存施設 ■温室(サボテン) 【イメージ】 イングリッシュガーデン/香りの庭/音の庭/色の庭/温室(サボテン)/カフェなど	花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリア ■花の丘 【イメージ】 花の回廊など	遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリア ■イベント広場 ■屋根付き広場 ■遊具広場 ■中高生遊具広場 ■幼児遊具広場 【イメージ】 遊具広場/屋根付き広場/イベント広場など	自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリア ■依佐美送信所記念館 ※既存施設 ■森の小屋 ■プレーパーク ■ピオトープ 【イメージ】 高須の森づくり/記念館の展示の充実/ピオトープ/プレーパーク(自然の遊び場)/駐車場の増設など				目的に応じて遊ぶことができるジョギング・ウォーキングコースです 【イメージ】 歩きやすい舗装/レーンの表示など	ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちでつながっています 【イメージ】 遊歩道/ベンチ/サイン整備など
行政	施設状況 喫煙課題 借したいところ	・メインストリートがいかにされていない ・飲食施設を見学させてほしい ・温室位置の見直しが必要 ■フローラルプラザ RC造 ・2006年建設(築17年) ■温室 S造 ・2006年建設(築17年) ※目標耐用年数80年	なし	・屋根のある場所が欲しい ・中高生の集まる場所がない ■既設大型遊具 金属性 ・2006年度設置 ※長寿命化計画上、耐用年数36年	・記念館のPRが足りない ・見るだけなのでつまらない ・歴史を感じない	・プレーパークがあると良い ・森が欲しい ・池はあるが生き物がいない	なし	なし	なし	
	イメージや課題に対する市の取組状況・熱度	・プラザ西側にイングリッシュガーデンがある ・プラザに新たにカフェオープン ・プラザの耐用年数は残り63年 ・温室の耐用年数は残り63年	-	・R6大型遊具の一部改修を予定 ・大型遊具の耐用年数残り19年	-	-	-	-	-	
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	2位(86票) ・イングリッシュガーデンを充実させてほしい、よさみのオリジナルティなので広げてほしい ・ハーブガーデンが欲しい ・ガーデンエリアが充実してほしい	3位(70票) ・園にあまりないのいいと思う ・花を沢山育ててほしい、オリジナルティなので充実させてほしい	1位(104票) ・遊ぶ場所がもっと広いといい ・いろいろな年代の子どもが遊べるようにしてほしい ・雨の日も楽しめる場所がほしい ・遊具がもう少し欲しい	5位(38票) ・駐車場の確保してほしい ・自動車による来園者がほとんどであるため、駐車場利用ニーズが高い	5位(38票) ・ピオトープがほしい、水場に生き物がいるといい ・子どもたちが自然と触れ合う場として求められている ・プレーパークが欲しい ・現在はガーデンエリアで定期開催されている	4位(42票) ・長距離コースにしてほしい	6位(23票)	なし	
事業者	公園に興味のある事業者数	3	3	3	3	3	3	3	3	
	積極的参加意欲のある事業者数	1	1	1	1	1	1	1	1	
	事業者からの具体提案イメージ	・バーベキュー施設の設置	なし	・遊具の更新 ・屋根付き広場	なし	なし	なし	・コース沿いに健康遊具の設置 ・レーン区分	・他の公園や施設までのサイン設置	
	イメージとの整合	不整合	なし	概ね整合	なし	なし	なし	なし	なし	
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	なし	・屋根付き広場などの整備により、防災機能向上効果が期待できる	なし	なし	なし	なし	なし	
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・イングリッシュガーデンの整備により景観形成効果が期待できる	・花の丘の整備により、景観形成効果が期待できる	・遊具の整備により、健康、レク提供効果が期待できる	なし	・プレーパークの整備により子育て、教育効果が期待できる	・ジョギングコースの充実により、健康、レク提供効果が期待できる	健康的なライフスタイルを提供することができる	なし	
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	・花の丘の整備により、観光振興効果が期待できる	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	整備優先度	中	低	高	低	低	低	低	低	

法規制	都市公園区域	公園区域内	一部公園区域外	一部公園区域外	一部公園区域外	公園区域外	公園区域外	一部公園区域外	公園区域外
供用開始	供用	供用	供用(一部)	供用	供用(一部)	未供用	未供用	供用(一部)	供用(一部)
その他規制	なし	なし	農業振興地域(農用地区域)	なし	農業振興地域(農用地区域)	農業振興地域(農用地区域)	農業振興地域(農用地区域)	なし	なし
用地買収の有無、交渉人数	不要	必要 用地面積:約7,000㎡ 4筆	必要 用地面積:約7,000㎡ 4筆	不要	必要 用地面積:約9,000㎡ 6筆 民家1軒あり	必要 用地面積:約9,000㎡ 6筆 民家1軒あり	必要 用地面積:約9,000㎡ 6筆 民家1軒あり	必要	必要
現時点での民間資金や補助金の活用見込み	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
周辺環境への影響、懸念事項	なし	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	依佐美送信所跡地の利活用 依佐美工業団地の動向	なし	なし
整備難易度	低	高	高	中	高	高	高	高	中

想定事業期間	早期実現性	約4年 (計画設計:約2年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)
	早期実現性	◎	○	◎	◎	○	○	○	○

エリア名	ガーデン・エリア	花の丘・エリア	あそびとついで・エリア	依佐美送信所・エリア				ジョギング・ウォーキングコース	ジョギング・ウォーキングコース
利活用イメージ	〇広く充実したイングリッシュガーデンでは、バラやハーブなどの美しい花を見たり、花を採りに写真を撮っています 〇香りの庭や音の庭、色の庭などの工夫を凝らしたガーデンがあり、だれもが楽しんでいます 〇ガーデンストラップやカフェでは、色とりどりの花や木々を見ながら豊かな時間を過ごしています 〇花に関する勉強会や相談会が開催され、気に入った花を買っています	〇小高い丘では、四季の花を眺め、ゆったり過ごしています 〇新たなフローラルガーデンよさみのシンボルエリアとなっています 〇小高い丘から、公園内の美しい景色を見渡しています	〇晴れた日も雨の日もさまざまな遊具で、子どもたちがみんな一緒に遊んでいます 〇テーブルに座って中高生が集まっておしゃべりしています 〇マルシェが開催され、多くの人が訪れています 〇コーヒーなどを飲みながら、広場でくつろいでいます	〇依佐美送信所記念館の展示を中心として、公園の各所で楽しみながら歴史を学び、体験することができます 〇依佐美送信所記念館を囲む緑は、市民が育んでくれた緑であり、自然を体感できる創造的な遊び場として、だれもが一緒に楽しんでいます				〇さまざまな年代の人が、ジョギングやウォーキングを楽しんでいます 〇コースの途中には、健康遊具でストレッチする人や、ベンチや四角でゆっくり休む人がいます	〇健康づくりのために、ミササガパークとフローラルガーデンよさみを歩いて周遊する人がたくさんいます 〇公園までは車を必ず、歩いて楽しむ人が増えています
行政	運営上の喫煙課題 借したいところ	・メインストリートがいかにされていない	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
事業者	指定管理者制度活用可能性	1	1	1	1	1	1	1	1
	提案利活用イメージ	・コンサートの開催 ・カフェ事業者との共同 ・ガーデンを利用したヨガ ・ガーデンスクールの開催 ・雑貨の販売 ・ボランティアとの連携 ・モデルガーデンの作成	なし	なし	・展示会の開催の促進 ・クラシックコンサートの開催継続	なし	なし	なし	なし
社会	指定管理状況	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理(一部)	指定管理(一部)	指定管理	指定管理	指定管理
	周辺施設との連携	近隣の市民農園との連携	近隣の市民農園との連携	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	利活用優先度評価	中	低	低	低	低	低	低	低

整備総合評価	考査	喫煙の課題も少なく緊急性が乏しく、官民連携の可能性が低いもの、市民から期待されているエリアであるため整備優先度は中としていた。供用開始区域である民間資金等の見込みがない。また、現指定管理者により適正に管理運営されているため、新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者が少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	喫煙の課題も少なく緊急性が乏しいうえ、官民連携の可能性が低く整備優先度は低い。供用開始区域である民間資金等の見込みがない。また、現指定管理者により適正に管理運営されているため、新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者が少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	昨今の気象状況から屋根付き広場等のニーズが高く、対応が求められており、官民連携の可能性も高いため整備優先度は高とした。また、現指定管理者が殆どであるが、民間資金の見込みがない。新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者も少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	喫煙の課題も少なく緊急性が乏しいうえ、官民連携の可能性が低く整備優先度は低い。供用開始区域である民間資金等の見込みがない。また、現指定管理者により適正に管理運営されているため、新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者が少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	喫煙の課題も少なく緊急性が乏しいうえ、官民連携の可能性が低く整備優先度は低い。供用開始区域である民間資金等の見込みがない。また、現指定管理者により適正に管理運営されているため、新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者が少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	喫煙の課題も少なく緊急性が乏しいうえ、官民連携の可能性が低く整備優先度は低い。供用開始区域である民間資金等の見込みがない。また、現指定管理者により適正に管理運営されているため、新たに指定管理者制度へ参入する意欲のある事業者が少ない。一方で指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できるものが多い。	指定管理事業の充実を図ることにより構想的利活用イメージの実現が期待できる。
整備総合評価 (短期・中期・長期の3段階評価)	長期	長期	中期	長期	長期	長期	長期	長期
	短期:指定管理事業の充実を図る							